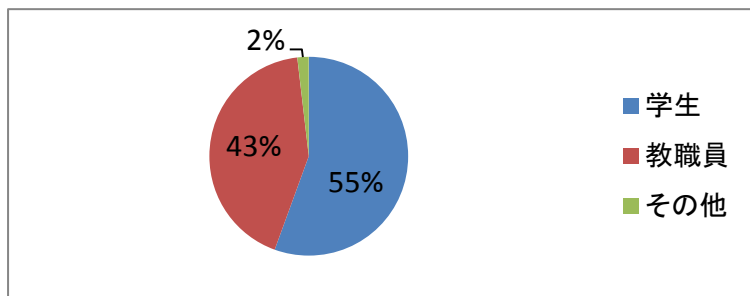


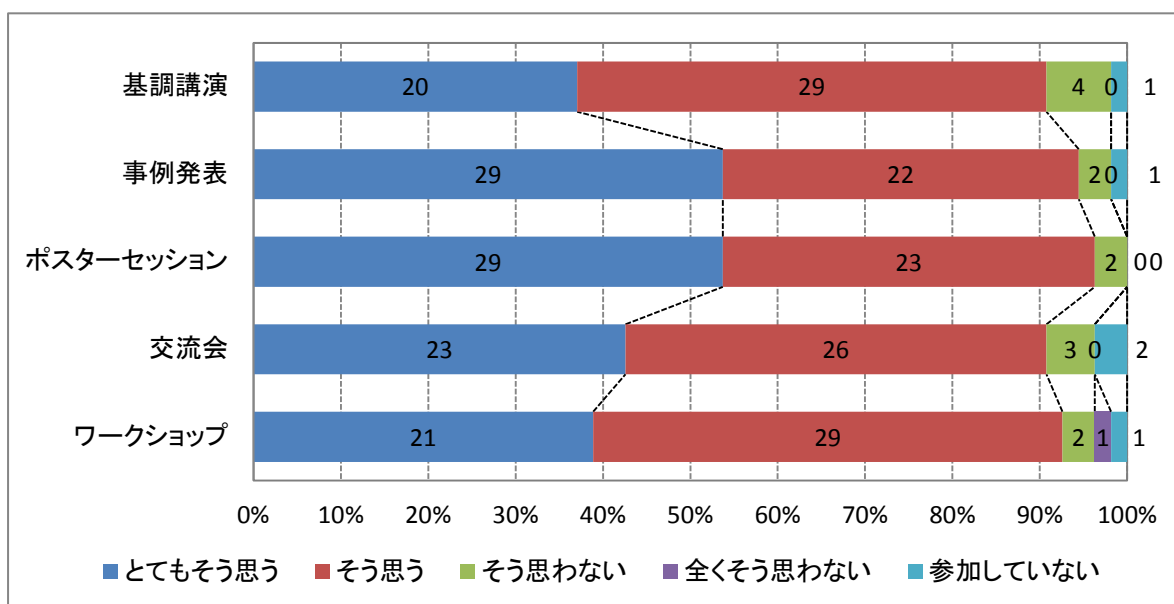
第8回学生協働交流シンポジウム（2018/9-6-7）アンケート集計結果

※参加者…198名 アンケート提出者…54名（回収率27%）

1. 回答者内訳



2. 各プログラムの満足度



3. 各プログラムについて（自由記述から抜粋）

(1) 基調講演

- ・ 授業で図書館職員が教えるということはありませんが、学生が学生に教えるというのは、大変先進的な取り組みだと思いました。今後、職員の確保が難しくなる中で、一つの方法として参考にさせていただきます。（教職員）
- ・ 図書館の案内は僕もやってみたかったことだったので、今回の実際に行ったことを基にした話は大変貴重で参考になった。（学生）
- ・ 1校の事例だけでなく、全国の動き等をまとめていただけると、学生にも大学事業としての意義を意識して活動してもらえるかと思いました。（教職員）
- ・ 司書過程の学生さんの取り組みよりかは学生協働としての視点のお話が聞きたかったです。（学生）

(2) 事例発表

- ・ 各大学の取り組みがとても面白かったです。中身も似たようで、似ていない、やはり学生さんや大学の個性が見えてくる事例発表でした。(教職員)
- ・ もう少し発表と発表の間に時間があると、自分の事例発表の直前まで他の教室の発表を見に行く余裕ができると思います。(学生)
- ・ 事例をじっくり聞くことができたことはこの方法ではよかった。ただあれもこれも聞きたい、もっと質問したいと思っても時間がなかったのが残念であった。(教職員)

(3) ポスターセッション

- ・ 事例報告で見ることの出来なかった活動も知ることが出来る、貴重なセッションでした。実際に協働に携わる学生や職員と言葉を交わすことで、より活動への理解が深まりました。(教職員)
- ・ 色んな取り組みを知れて参考になった。ただ、前半・後半と分けても前半の組が後半でも発表していたので、分けるよりも広いスペースを設けてしてほしいかったです。また、人が多くて行きたい所への進行が難しかった。(学生)
- ・ たくさんの大学の参加があり、大いに意見を交わす学生の姿を見ると、大変盛り上がるこの企画はシンポジウムでなくてはならないと思った。ただ多いため、すべて聞けず、会場が若干狭く感じ、時間もとても短いように思った。(教職員)

(4) 交流会

- ・ 美味しい料理をありがとうございました。広島を紹介も分かり易いかつ面白く、大変楽しかったです。(学生)
- ・ テーブル間を移動する仕掛けがあれば、もう少し活発に動けたかなと思います。(教職員)

(5) ワークショップ

- ・ 職員のみグループでしたが、皆さん同じような悩みを持っていて、解決はしなくても悩みを共有することで新しい見方ができてとても有意義な時間でした。(教職員)
- ・ 大学独自の特徴を持ち合いよりよいものを作ることを考えるよいものであった。また、グループで議論することによって意見がたくさん出てとても良かった。(学生)
- ・ いろいろな大学の方と意見交換ができ、とても有意義だった。ホワイトボードや模造紙の使い方など、発表に関する指示を最初にしていただけると良かった。発表は、まとめたものを大きく映してくれたので話し合いの内容が伝わりやすく、わかりやすかった。学生視点の発表は聞いていて面白かった。(教職員)

4. シンポジウム全体について（自由記述から抜粋）

- ・ 他大学の活動を知ること、今後の自分たちの活動に対するモチベーションが上がった。(学生)
- ・ 全体的に時間の余裕がなかったので、もう少し余裕があるといいと思う。(学生)
- ・ 学生の参加がこれほど多いとは思わなかった。また、学生が積極的に図書館に関わっていて、頼もしかった。(教職員)

- ・ 来る前に思っていたより、アイデアをたくさんもらえました。ありがとうございました。（教職員）

5. 今後のシンポジウムでやってほしいこと（自由記述から抜粋）

- ・ 大学図書館が全体として持つ、今取り組むべき問題がある程度具体的に絞り、そのテーマに対する学生協働のあり方を学生職員交えて討論するなど、学生協働の特色を活かせる方向性を探るようなプログラムを導入してほしい。（学生）
- ・ ゲーム感覚のイベントがあると嬉しい。（学生）
- ・ 職員の立場としては、先進的な活動をしている大学の、活動費や学生の募集・活動をどのように進めているかが知りたいです。（教職員）
- ・ 事例発表を全体で聞けるように工夫(たとえばテーマを作って発表するとか)
交流会で席を替わってもっと広く交流が取れるよう、イベントをする？(交流会は夕方がベスト)
（教職員）